

つとむ まなぶ むすぶ

よろこび

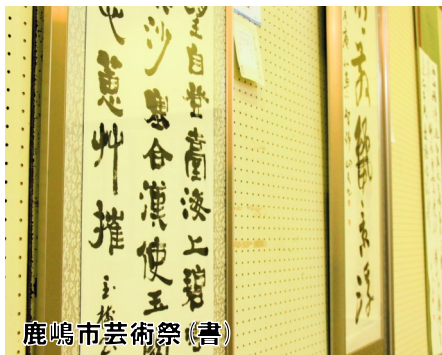
2022年12月15日号(No.35)

CONTENTS

- 2 第19回鹿嶋市まちづくり市民大会
- 2 これであなたも“鹿嶋人”！？
- 3 市民センのひろば
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊
「～仲間と一緒に健康づくり～」
健康ラージボールクラブ
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり☆まちづくり
「かしま灘楽習塾講師 境田 馨 さん」



鹿嶋市芸術祭(絵画)



鹿嶋市芸術祭(書)



鹿嶋市芸術祭(写真)



鹿嶋市芸術祭(工芸)



鹿嶋市芸術祭(手芸)



鹿嶋市芸術祭(華道)



鹿嶋市芸術祭(和紙絵)



鹿嶋市芸術祭(自由創作)



て～ら祭(鹿嶋中学校吹奏楽部)



て～ら祭(チアダンスサークル Shiny Colors)



て～ら祭(クイズラリー抽選会)



て～ら祭(エンジョイスポーツ)

第19回鹿嶋市まちづくり市民大会

～地域の課題に寄り添う公民館～

『コミュニティプランを推進する「学びと実践活動」について考える』



令和5年2月5日(日)

- 12:40～ オープニング
- 13:00～ 開会
- 13:10～ まちづくり市民・団体表彰
- 14:15～ 基調講演
- 14:40～ 事例発表
- 15:10～ パネルディスカッション

会場

大野まちづくりセンター
多目的ホール

主催

鹿嶋市・鹿嶋市教育委員会
鹿嶋市まちづくり連絡協議会

主管

令和4年度第19回鹿嶋市
まちづくり市民大会実行委員会

問合せ

鹿嶋市まちづくり市民センター
電話：0299-83-1551

まちづくり市民大会は、地域の様々な課題や市民の主体的なまちづくり活動における成果と課題を共有し、目指すべき方向性を確認する機会として開催しており、今回で19回目となります。

今年度は、コミュニティプランに盛り込まれている地域課題や生活課題解決型の学習とその成果を生かした実践活動が地域づくりに繋がっていく道筋を描き、共有するとともに、その活動を支援する公民館と市民組織の関係性についても研究・協議し、今後の基本的な方向性をまとめていきたいと考えています。

当日は、サステナブルタウン代表の萩元直樹先生の基調講演のほか、活動実践者、公民館関係者等による事例発表やパネルディスカッションを予定しております。



令和元年度
まちづくり市民大会の様子

これであなたも“鹿嶋人”！？



まちづくり市民センターでは鹿嶋に関する書籍「鹿嶋ものしりハンドブック」を、社会教育課では「鹿嶋市郷土かるた」を販売しています。今回は「鹿嶋ものしりハンドブック」からの問題です。クイズに正解して、あなたも“鹿嶋人”を目指しましょう！

Q

太平洋戦争末期、海軍航空隊・神之池基地が設置され、神之池海軍航空隊が発足、特別攻撃隊が組織されました。当時、今の日本製鉄(株)鹿島の敷地の一部が特別攻撃機の訓練基地になりました。その攻撃機の名称は何でしょう。

A

櫻花(おうか)

ここで訓練を受けた若者たちが九州(鹿児島県)の鹿屋飛行場から飛び立ち、太平洋上に散っていきました。平成5年(1993年)、平和を祈る公園として櫻花公園が開園しました。建碑の「由来碑」は、歴史小説家の山岡荘八氏(えんたいごう)が書いたものです。公園には、掩体壕が保存され「櫻花」の復元機も置かれています。



利用してます!!

市民セン

のひまわり



色えんぴつ画に参加し、刺激し合い乍ら楽しい時を過ごしています。作品展をR4年12/13(火)～18(日)まで、市民ギャラリーで行います。どうぞ足をお運びください。

色えんぴつ画
山田 よう子さん(鉢形台)



かしま灘楽習塾
「スポーツ吹矢健康教室！」講師
後藤 秀男さん(厨)

ピンと張りつめた空気の中、ビーツ・バシツの音だけが響く。その後は、歓喜・落胆が入り混じりにぎやかなひと時2回/月、恵まれた環境での吹矢講座が出来る事。市民センに感謝です。

団体紹介



「童謡唱歌を楽しく歌う会」

高柳 恵三さん(平井)

歌で鹿嶋を元気に！を旗印に音楽の市民活動団体として平成6年に発足して以来、28年間生きがい活動として継続しております。主に童謡唱歌を中心に合唱曲を楽しみながら習い、市民音楽祭や地域の発表会に参加して鹿嶋では伝統ある顔馴染みの音楽サークルです。

会員は高齢者を中心に約50名です。この3年間のコロナ過にあっても断続的の活動を継続して、今後も歌の力でコロナを乗り越え頑張っていくと思っております。練習日は毎月第2・第4土曜日の午前中です。只今会員募集中！

歌の好きな方、歌って元気になりたい方のご入会を大歓迎しております。



▲日頃の活動の様子

地域レポート



まちづくり探検隊

(vol.34)

～仲間と一緒に健康づくり～
健康ラージボールクラブ(平井)



みなさんは「ラージボール」という競技を知っていますか？
ルールは卓球と同じようですが、使う道具が卓球と少し違うんです。ボールは卓球の球よりも大きくて見やすいですし、ラケットも表面がつぶつぶしているため回転がかかりづらく、ラリーが続きやすくなっています。

さて、この健康ラージボールクラブは令和4年5月22日に結成され、心身の健康づくりを目的として、気の合う仲間同士が集い、毎月第1日曜日と第3日曜日の13時から約2時間ほど活動しています。

参加者に話を伺うと、退職後の楽しみを探していた人や、主婦で趣味を探していた人など、この健康ラージボールクラブに行きつくまでの経緯は様々ではありますが、誰もが「体を動かして汗をかくのは気持ちいいし楽しい！」と口をそろえて言っていました。

参加者の1人は、過去に足が痛くてかけ足もできなかったことがあったそうですが、このラージボールを始めて再びかけ足ができるようになったという方もいて、実際に身体の調子が良くなったことを実感することができているようです。さらに、この健康ラージボールクラブの仲間と卓球以外のお話もするようで、様々な情報交換をするなど、心にハリが出てきたと教えてくれました。

今回は平井地区の健康ラージボールを紹介しましたが、代表の正野さんに今後の展望を伺うと、「本来はもっと仲間を受け入れるなど地域に貢献したい気持ちがあるが、今の状態では少し難しいのが課題。現在の参加者の意見も取り入れながら、どう工夫して新規メンバーを受け入れる体制を作っていくか考えていきたい。そして仲間と1日でも長く、元気に楽しく、ラージボールを続けていきたい」と話してくれました。



▲ミーティングの様子



▲みなさんラリーが続いています！

お知らせ

鹿嶋市立公民館HPをぜひ、ご覧ください！

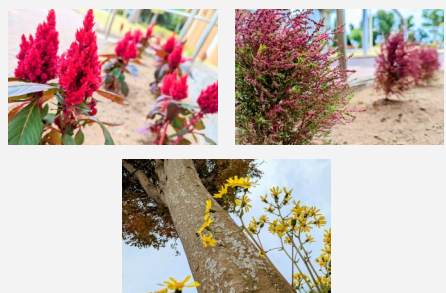
『使いやすさの向上』や『セキュリティ対策の強化』を目的に、鹿嶋市立公民館ホームページを鹿嶋市公式ホームページのサブサイトとして令和4年5月から運用を開始しました！

ホームページはこちらから！

QRコード: <https://city.kashima-beach.jp/site/e/kouninkan/>

Instagramはこちらから！

10～12月の市民センPhotograph♡



きらり★まちづくり (vol.34)

～書道の魅力を
みなさんに～

かしま灘楽習塾 講師

境田 馨 さん(浜津賀)

主な活動

かしま灘楽習塾の講座「書道漢字入門」の講師をしています。書道をする時は、ふつう市販の筆と、ボトルに入った墨液を使用すると思いますが、この講座ではこだわりの筆やイチから作った墨液を使用しています。生徒は書道への関心が高く、教えた生徒の中には県の芸術祭で入賞する方もいました。

また、かしま灘楽習塾の講座以外での活動としては、現在も自身の作品を制作し、様々な展覧会に出展するなど精力的に活動しています。

書道の魅力

書道の魅力は「書けば書くほど良くなる」ことです。以前、下妻市の大日本競書会が書道雑誌を発行しており、その編集をしていた皆葉華道先生という方から「1カ月に半紙2,000枚使うくらい書きなさい」と言われました。現役時代は仕事と書道の両立が難しく、2,000枚を書くことはできませんでしたが、できる範囲で

努力しました。そのおかげで上達することができ、「書けば書くほど良くなる」ことを実感しました。

また、書道には5つの書体(楷書・行書・草書・隸書・篆書)がありますが、ある時、大日本競書会の書道雑誌に殿村藍田先生という方の行草混体(行書と草書が混ざったもの、以下「藍田調」と呼ぶ)の作品を見たときに心酔し、一時師事しました。現在私が制作している作品もその時心酔した藍田調で制作しています。

書道の展覧会では各々の出展者が得意な書体にて作品を制作しており、楽しむことができると思います。それも書道の魅力なのでしょう。

第18回鹿嶋市芸術祭を終えて

扇面に書いた作品(右上写真)は正直、100点満点中60点です。書けたときは「上手くできた」と思うのですが、時間が経ってから作品を眺めると反省することが多いです。100点をとることは絶対にありません。100点に近づけるように努力するのみで

す。

また、色々な流派の方の作品を見るのは楽しいものです。どうしても同じ流派の方は作品が似てきてしまいます。ですから、今後も鹿嶋市芸術祭で様々な流派の方が出展し、盛り上げていただくと嬉しいです。

今後の抱負

かしま灘楽習塾の講座生も、自身の個人的な習字教室の生徒も、高齢化が課題です。正直若い人はいません。

「書く」ことが減ってきている現代で、このままいくと「書道」という文化が失われてしまうのではないかと思うこともあります。

また、学校の現場の先生たちには書道専門の先生が居ないと聞いていて、指導者の不足も懸念しています。

ぜひ、鹿嶋市内の小中学生や若い人たちに書道の魅力を伝え、技術を育て、「書道」という文化を守ってほしいと思っています。書道の指導者として、この思いが実現できるよう、様々な場所でお手伝いをしていきたいです。

活動風景



▲かしま灘楽習塾での授業風景



▲基本の練習

PROFILE

- さかいだ かおる
(雅号 境田 桂風)
- ・鹿嶋市浜津賀在住
- ・元荒井郵便局長
- ・趣味
音楽鑑賞
- ・好きな漢詩
李白詩